

# 北海道歯科技工士会 基本研修 顔面補綴 (エピテーゼ)

秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科・歯科技工士 (工学博士)

日本口腔顎顔面技工研究会 会長

田 中 清 志



## 講 演 要 旨

顔面エピテーゼは、顎顔面領域に用いるエピテーゼの事で、腫瘍、火傷、怪我、先天性などによる顔面部の欠損の補綴を目的としてものものであり形成外科、口腔外科などで治療および研究開発が行われている。

顔面エピテーゼには、鼻エピテーゼ、耳エピテーゼなどがあり製作は義肢装具士、歯科技工士が行う事が多い。現在、日本ではエピテーゼは医療行為として認められておらず装身具扱いであり、保険対象外となる。その影響もあり近年まで日本では欧米に比べ症例数が少なく認知度は低かったが、歯科技工士を養成する広島大学歯学部口腔保健学科で顔面エピテーゼのカリキュラムを導入され技術者の養成が始まるなど広がりを見せつつあり、法の整備が求められている。今回、秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科で製作した顔面補綴 (エピテーゼ)、その他について症例を供覧しながらその製作方法を簡単に紹介する。

## 略 歴

- 1984年3月 仙台歯科技工士専門学校を卒業、卒業にあたり宮城県知事賞を受賞
- 1985年3月 東北大学歯学部附属病院中央技工室研修生を修了
- 1985年4月 神奈川県相模原市さじま歯科医院に勤務
- 1989年4月 宮城厚生協会古川民主病院歯科クリニック主任歯科技工士勤務
- 1994年4月 秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科技工室に勤務、現在に至る

## 主 な 研 究 歴

- 2001年8月 日本歯科技工学会認定士取得
- 2003年8月 日本歯科技工士会認定講師取得(顎顔面補綴、インプラント補綴)
- 2004年4月 秋田大学大学院工学資源学研究科・生産システム講座・生産・建設工学専攻後期博士課程に入学、研究テーマは「顎欠損におけるインプラント上部構造の設計と強度」について3次元有限要素法を用いて研究を行い、2007年3月22日修了、工学博士を取得。
- 2007年～現在、睡眠時無呼吸症候群治療用口腔内装置の製作に用いる咬合採得器具の開発や光造形技術による高精度実物大顎口腔モデルの開発について研究を行っている。